

# Matsuda



町議会サイトは  
こちらから

松田町議会だより

No.230  
2023.6.1



## 寄小学校お茶摘み体験

(3年生を対象に5月10日開催：寄のお茶について知ろう)

### 第1回定例会の概要・

予算審査特別委員会質疑ほか	2
一般会計予算討論	5
条例・補正予算・発議ほか	6
議案審議結果一覧	7

一般質問

第1回臨時会の概要・	8
一般会計補正予算討論	12
議員行政視察報告ほか	15
住みやすい町を目指して <sup>53</sup>	16

# 令和5年度 9会計の予算を可決

総額84億5144万円

前年度対比  
2億4212万円の減

令和5年度の一般会計・特別会計・企業会計予算が提案され、予算の審議が行われました。

このうち一般会計予算は、議員6名で構成される一般会計予算審査特別委員会を設置、付託の上10日に町長・副町長・教育長以下、参事・課長職から係長職の職員出席のもと詳細に審査が行われました。

この審査の結果は、13日の本会議で特別委員会報告（4ページ参照）が行われ、予算総額51億9千万円の一般会計予算が原案のとおり賛成多数で可決されました。

また、7特別会計・水道事業会計予算は、13日の本会議で質疑の後採決が行われ、すべて原案のとおり可決されました。

ここでは、一般会計予算の主な質疑内容の概要について、掲載（2～4ページ参照）します。

## 令和5年 第1回定例会

会期 3月2日(木)～13日(月)

3/2

### 一般質問

寺嶋議員 (P8)  
齋藤議員・井上議員 (P9)  
南雲議員・田代議員 (P10)  
古谷議員 (P11)

3/3

### 一般質問

平野議員 (P11)

### 議案審議等

議案9件(条例改正・指定管理・総合計画見直し)

### 特別委員会

松田町議会ハラスメント防止条例、規程等の委員会

3/6

### 議案審議等

議案5件(補正予算・予算)

### 現地視察(工事予定箇所)

3/9

### 特別委員会審査

総合計画審査特別委員会

3/10

### 特別委員会審査

一般会計予算審査特別委員会

3/13

### 議案審議等

委員会報告2件(総合計画・予算)、議案8件(予算)、発議1件(条例)、報告ほか

## 歳入

【質】町税が15億900万円比以前より減少しているが、減収に対する対策は。

【答】(税務課)

町民税は個人の所得に応じて下がったり、上がったりに見えますが、収納率を上げていくこと、滞納者を減らしていくことを目標としています。

【質】町税は前年度から1700万円減少している。6年度以降の町税の収入の予測と納税義務者の減少傾向の見込みは。

【答】(税務課)

コロナの状況が落ち着いていく中で、個人の所得割は横ばいか回復し上がっていくものと見込んでいます。一方で、納税義務者の生産年齢人口が減少傾向にあるので町税は少しずつ減っていくと見込んでいます。

【質】コロナの給付金の関係で所得割が微増になっているという説明もあったが、4年度と5年度の金額は。

【答】(税務課)

4年度は一人当たり11万1千円と見込んでいたものに対して、5年度は11万1500円で、500円の増額で見込んでいます。

【質】ふるさと納税の商品開発は、年度末にどのくらい見込んでいるのか。

【答】(政策推進課)

シティプロモーション商品の開発やゴルフ場にIoTの自販機を置いて稼働率を上げたい。返礼品額が一番大きいのは足柄牛。納税額は1億円超になると思う。





新しい利活用が検討される旧寄中学校校舎

**【質】** ゼビエ処理加工施設使用料収入73万円1千円の積算根拠は。

**【答】** (観光経済課)

施設の設定管理条例に基づき規定では、足柄上郡の4町、中井町を除く4町については1頭3千円。中井町は1頭1万6千円。上郡以外は2万1千円となり、年間2百頭を見込んでいます。

**【質】** ゼビエ処理加工施設の稼働はいつ頃からやる予定か。

**【答】** (観光経済課)

運用の中で安全面などを担保するということが非常に肝要である。この施設を運営する足柄上郡5町で組織する協議会を立ち上げている。その中で10月から稼働していくことで合意している。

## 自治・政策

**【質】** 今後、減り続けるであろう町税収入を見据え、今ある財政調整基金の使い方について町長の考えは。

**【答】** (町長)

現在ある財政調整基金約15億円は充分にあると満足はしていない。今後予定されている大型事業もあり、しっかりと将来を見据え、町民の理解を得ながら使っていく。

**【質】** 旧寄中学校で運営していた足柄リハビリテーションセンターが6月で撤退するということが、

今後の建物の利活用の考えは。

**【答】** (総務課)

今後も寄地区の活性化につながる形で事業者の公募を行い、施設の部分貸しも視野に今後検討していきたい。

**【質】** 新モビリティサービス推進事業について、令和5年度から7年度まで実証実験をし、令和8年度から運用を始めることだが、運行費用並びに富士急バス路線の縮小等に繋がるのでは。

**【答】** (政策推進課)

現在タクシー利用料の負担金も多くなっているデマンド方式では一台運行には約1500万円かかるが利用者の利便性を図っていく。また、バス路線については、基幹路線以外の枝路線を対象に実施していく。

## 生活・環境

**【質】** 足柄上休日急患診療所があるのに、小田原市休日・夜間診療所と休日歯科診療所の負担金が計上されている理由は。

**【答】** (子育て健康課)

足柄上休日急患診療所が運営していない時間帯、平日の19時から24時に利用できる。また歯科についても、日曜や祝日、お盆の期間に診察される方のために計上している。

住民へは、健康カレンダーや町HPで周知していく。

**【質】** 一市五町で整備を進めている、あしがら上地区資源循環処理施設の整備について、日量80tを燃焼方式で処理することだが、議員が議論する余地がないのは疑問に感じる。

**【答】** (環境上下水道課)

現時点では地元調整を重点に、行政サイドを進めていく。しかるべき時期に一部事務組合を立ち上げるので、その時には

足柄上衛生組合と同様に、組合会議で議論する場を設けることになる。

**【質】** 宮下公園と店屋場公園のトイレを、和便器から洋便器に替えるということだが、ただ洋便器に替えるだけでトイレ内が非常に狭く使いづらい。改修の際に快適に使用できるようにならないか。

**【答】** (町長)

全体の公園のイメージの中で、工事も含めながら、子育て世代の女性の方々、男性も含め、各世代の方々が気持ちよく使えるようにと考え予算を計上した。予算の範囲の

中で行っていく。

**【質】** 新松田駅南口駅前広場整備事業で南口の状況展望はどういう形になるのか。新松田駅北口周辺整備事業との関連で、人バス、乗用車などの回遊性についての考え方は。

**【答】** (まちづくり課)

南口整備については粘り強く推進していく。南口広場整備については警察との協議も終わりバス、タクシー、一般車は入れることになっている。町道4号線から文久橋方面の道路は歩道も含め拡幅整備を視野に入れて考えたい。



洋式化される店屋場公園のトイレ



新松田駅南口駅前



観光の拠点となる西平畑公園

内訳である。

## 観光・経済

**質** ズビエ処理加工施設は、10月から稼働とのこと。その運営内容と委託料の詳細は。

**答** (観光経済課)

鹿や猪を解体して食肉として利用する施設なので、猟に携わる団体に運営を委託する。

委託料は300万円程度で、光熱水費・残渣の処理費・管理人経費などが

**質** 松田山活性化事業として協議会を立ち上げるよつだが、西平畑公園も含めて利活用の検討をするのか。

**答** (観光経済課)

松田山が抱えている

様々な課題に対して、西平畑が観光の拠点としての機能を有しているのので、そこから松田山の中でいろいろと結びつきができるなど、今後の方向性を検討するための協議会となる。

**質** 新規事業として森林経営管理意向調査委託料として、333万3千円が計上されているがどのような事業なのか。

**答** (観光経済課)

森林環境譲与税が創設され森林保全の強化が求められている。今後の町の森林施策を決めるにあたり状況の把握も含めてアンケート、意向調査などを実施するための予算。

**質** 増え続ける耕作放棄地の防止と、食料自給率を上げるため、松田町の農業従事者に更なる厚い補助の考えは。

**答** (町長)

農地の保全ということが重要であると考えてい

る。農業委員会とも連携し、松田町に見合った特産品の開発と耕作放棄地の減少を図っていく。

## 教育

**質** 松田中学校警備員が令和4年度をもって廃止されたが、今後の対策は。

**答** (教育課)

令和4年度までは2名体制で行っていたが、令和5年度については、新たな方法を考えていく。

**質** 英語教育推進事業の外国語指導助手派遣支援委託料660万円の内訳は。

**答** (教育課)

マネジメント業務に97万3千円、研修など技術向上に114万7千円、英語検定が115万2千円、交流事業関連業務が36万7千円、イングリシユカフェ等のイベント業務が55万6千円、240万5千円が諸経費。

### 議案第13号 令和5年度松田町一般会計予算

#### 一般会計予算審査特別委員会報告書 (抜粋)

##### 1. 審査の結果

採決の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

##### 2. 審査の内容

歳入は一括、歳出については各款ごとに審査しました。

予算額は、昨年度と比較し、松田小学校整備事業が完了したため減少している。その中において、未来を見据えたハード・ソフト事業が盛り込まれており、健全で持続可能な予算編成となっている。

なお、予算執行にあたっては次の事項について申し入れをします。

- (1) 町税が減少傾向にあるため、ふるさと応援寄附金の増収や人口減少対策などに取り組み、財源の確保に努められたい。
- (2) 新モビリティサービス推進事業は、高齢社会での交通対策として期待される事業であり、公共交通事業者との調整を十分に図り執行されたい。
- (3) 県内初となる広域で設置した「あしがらズビエ工房」の管理運営を軌道に乗せ、ズビエの精肉販売事業を展開されたい。
- (4) 国・県補助金等を財源に森林の保全整備事業を積極的に推進されたい。

## 議案第13号

# 令和5年度松田町一般会計予算【討論】

### 反対討論

寺嶋 正 議員

令和5年度松田町一般会計予算について反対の立場から討論を行います。町の一般会計予算は51億9000万円で、前年度対比3億2000万円の減額となっています。歳入の主な町税は15億949万円、地方交付税13億円、国庫支出金5億6227万円、町債2億4600万円です。地方債の令和5年度末現在高見込み額は58億1097万円となって、町税は減少傾向にあり、自主財源の確保等に努め、町有地の有効活用、未利用地の住宅地への誘導などに取り組むことです。

課題として、消防松田分署土地購入事業では2億円かかり、その内、物件損失補償に要する経費として令和7年度まで1億1500万円の債務負担行為が行われています。後年度にリスクを先取りする債務負担行為はあまり好ましくないと思いますが、土地や建物の調査を行い交渉にあたることです。新松田駅周辺整備推進事業は、概算で49億円を見込んでいます。5年度は再開発組合の設立に向けた支援業務や駅前広場の基本設計、都市計画決定に係る図書作成業務等と基金積立金を合わせて2億8000万円を計上しています。当面、扶助費、公債費の増加、公共施設の老朽化による維持管理経費の増額など厳しい財政運営が予測され、町民サービスの低下を招かないような町政を行うことです。

いくつか問題点を述べておきます。A1オンデマンドバス交通の導入に向けた実証実験において、地域住民の移動の足を確保し、通院や買物の利便性が向上するように取り組むこと。寄地区の人口減少対策として、地域の活性化に向けた協議会を設置することでは、町民懇話会等で住民の声を聞き、仕事おこしや移住、定住事業の実施に向けた対策を練ること。町消防団は定員に対して不足しているので、町民の生命と財産を守る立場から充足すること。生徒や教員の安全を守る松田中学校警備員を2名削減しているので人員を配置することを申し上げて、一般会計予算の反対討論とします。

### 賛成討論

平野 由里子 議員

令和5年度一般会計予算は、小学校建設が完了したことにより昨年度より3億2000万円の減で、51億9000万円となっている。歳入では町税が1705万円の減となっており、主な原因は納税義務者の減少であるが、地方交付税が2億1500万円の増となりこれを補っている。町債の発行は昨年度より62.4%減、金額では4億880万円の減で2億4600万円となり、全体として持続可能な予算規模と判断する。

歳出については、新モビリティサービス推進事業として5883万円の予算が計上されており、本格的な高齢化社会を迎えようとしている当町にとって将来を見据えた交通サービスの実証実験として期待する。定住少子化対策支援事業については、新たにお試し住宅実施や空き家利活用のための改修・解体などを含め、1328万円が予算化されたことは評価に値する。出産・子育て応援事業では、国事業のほかに町独自の支援として新生児1人につき5万円、1～2歳児に3万円が給付されるだけでなく、妊娠期から子育て期まで切れ目のない相談支援事業が開始される。子育て世代から要望が多かった公園整備については、宮下公園のトイレ洋式化・遊具塗装、店屋場公園のトイレ洋式化、みやま運動広場の遊具整備などが予算化された。教育では外国語指導助手（ALT）を2名から4名に増員し、英語教育のさらなる充実が期待される。新松田駅周辺整備事業では、再開発組合の設立に向けての支援業務、駅前広場の基本設計などの予算が計上され、着実に歩を進めている。

令和5年度は松田町第6次総合計画「後期アクションプログラム」がスタートする年であり、一層の住民福祉向上が図られることとなる。

本予算はSDGs未来都市として、“誰一人取り残さない”ための編成になっており、掲げられた事業に意欲的に取り組まれることを期待して賛成討論といたします。



第6回 新松田駅北口周辺地域地権者検討会

# 条例

▼松田町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例

▼地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

いづれも、地方公務員法の一部改正に伴い、町職員の定年を65歳まで段階的に引き上げるとともに、60歳を超える職員の職制、任用及び給与に係る規定を整備するため所要の改正をするものです。

▼松田町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

非常勤特別職の時勢に即応した処遇改善を図るため、報酬額に係る所要の改正をするものです。

▼松田町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正

する条例

令和4年8月に行われた人事院勧告に伴い、本町において12月に常勤職員に係る給与条例を改正したことを踏まえ、一般職員としての均衡を図るため、会計年度任用職員に係る給与について所要の改正をするものです。

▼松田町交通指導隊設置条例の一部を改正する条例

交通指導隊の出動内容の多様化に伴い、出勤手当を見直し、処遇改善を図るため、所要の改正をするものです。

▼松田町寄簡易水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

寄地区の水道加入負担金（メーター設置料金）を減額させることで、新規居住者等の増加を促進し、使用料等の増収に結び付け、事業会計の安定化を図るため、所要の改正をするものです。

▼松田町国民健康保険条例の一部を改正する条例

国民健康保険法施行令等の一部改正により、出産に係る経済的負担を軽減するための出産育児一時金の支給額が変更となるため、所要の改正をするものです。

## 指定管理

▼松田町川音川パークゴルフ場の指定管理者の指定について

令和5年4月1日から令和8年3月31日まで、M. R. J. 株式会社を指定管理者に指定するものです。

## 補正予算

▼令和4年度松田町一般会計補正予算（第9号）

歳入歳出それぞれ2億7912万9千円を減額し、予算総額を59億5893万2千円とするもの

です。事業費が確定し、不用となった予算額などを整理するものです。

▼令和4年度松田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）

歳入歳出それぞれ990万4千5千円を減額し、予算総額を11億8479万4千円とするものです。主な内容は保険給付費などを減額補正するものです。

▼令和4年度松田町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ303万6千円を追加し、予算総額を5028万3千円とするものです。主な内容は、国民健康保険事業特別会計繰入金を増額補正するものです。

▼令和4年度松田町一般会計補正予算（第10号）

主な内容は、学校施設環境改善交付金や教育施設整備基金繰入金など、

松田中学校整備事業の財源となる歳入を補正するものです。

## 発議

▼松田町議会の個人情報保護に関する条例

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行により、個人情報保護法が改正されましたが、改正後の個人情報保護法では、議会は適用除外となることから、議会における個人情報保護の適切な取り扱いが確保されるよう、井上副議長が提案者となり提出し、本会議で賛成多数で可決となりました。

## 総合計画

▼松田町第6次総合計画「基本計画」の見直しについて

松田町自治基本条例第15条第1項及び松田町議

### 総合計画審査特別委員会報告書（抜粋）

審査の結果、「基本計画」の見直しについては、妥当なもの判断しました。

なお、次の項目について、強く申し入れをして原案のとおり賛成することとしました。

- (1) P（Plan：計画） D（Do：実行） C（Check：評価） A（Action：改善）サイクルによる評価・検証の徹底
- (2) 町民及びチルドレンファーストの視点によるまちづくりの推進

会基本条例第5条第1項第1号の規定に基づき、提案されたものです。議員11名で構成する総合計画審査特別委員会を設置、付託の上、慎重に審査を行いました。審査の結果、賛成全員で可決し、本会議でも可決となりました。

# 議案審議結果一覧

## 第1回定例会（3月議会）

○…賛成 ●…反対 可…可決 欠…欠席

議案等番号	議員名(議席順) 議案等	審議結果	唐澤	古谷	内田	平野	田代	井上	南雲	中野	齋藤	寺嶋	大館
			一代	星人	晃	由里子	実	栄一	まさ子	博	永	正	秀孝
議案 2	松田町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 3	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 4	松田町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 5	松田町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 6	松田町交通指導隊設置条例の一部を改正する条例	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 7	松田町寄簡易水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 8	松田町川音川パークゴルフ場の指定管理者の指定について	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 9	松田町第6次総合計画「基本計画」の見直しについて (総合計画審査特別委員会報告)	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案10	令和4年度松田町一般会計補正予算(第9号)	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案11	令和4年度松田町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案12	令和4年度松田町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第2号)	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案13	令和5年度松田町一般会計予算 (一般会計予算審査特別委員会報告)	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案14	令和5年度松田町国民健康保険事業特別会計予算	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案15	令和5年度松田町国民健康保険診療所事業特別会計予算	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案16	令和5年度松田町上水道事業会計予算	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案17	令和5年度松田町寄簡易水道事業特別会計予算	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案18	令和5年度松田町下水道事業特別会計予算	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案19	令和5年度松田町介護保険事業特別会計予算	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案20	令和5年度松田町用地取得特別会計予算	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案21	令和5年度松田町後期高齢者医療特別会計予算	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案22	松田町国民健康保険条例の一部を改正する条例	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案23	令和4年度松田町一般会計補正予算(第10号)	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議 1	松田町議会の個人情報の保護に関する条例	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

※ 飯田一議長は採決には加わらない。

# 一般質問

# ここが聞きたい

町長等の執行者に対して、町政全般の事務事業等の執行状況や政策方針などを聞くことが一般質問です。



町では、一般質問の録画映像をYouTubeにて公開しています。

スマートフォン等をご利用の方は、各議員のQRコードを読み取りご覧ください。パソコン等から視聴される方は「**松田町議会 YouTube**」と検索していただくと、ご覧いただけます。

## 子育て、くらしを守る予算を



質問者  
寺嶋 正 議員



(1) 子育て支援の充実策として、子育て世代引越し応援金や空き家改修事業補助、学校給食費の負担軽減と無償化等のお考えは。



(2) 新型コロナウイルス感染症法上の5類への移行に伴い、治療費は患者の自己負担が生じる可能性がある。コロナウイルスワクチン接種の補助や感染症防止対策事業の維持は。

(3) 公共交通における、AIオンデマンドバスの導入や地域公共交通計画に基づく、新モビリティサービスの取組みは。

### すこやか祝金や子育て支援給付金を支給

回答（町長）

A



(1) 町単独で、新生児一人につき「松田すこやか祝金」として5万円、1〜2歳児一人につき「子育て支援給付金」として3万円を給付する。住宅取得に着目した各種奨励金を用意し、引越し費用の間の助成を継続する。学校給食費の負担軽減は現制度を継続し、無償化

実証実験中の塩尻市オンデマンドバス



については財源の確保などが今後の検討課題である。

(2) コロナウイルスワクチン接種費用負担は、無料で受けられる予防接種法上の「臨時接種」を令和6年3月末まで延長する調整に入ったとの情報がきている。

(3) 町民の移動等ニーズ調査結果から、新たなモビリティサービスの導入希望への意見が多かったため、「オンデマンド交通」の導入に向けた実証実験を予定している。

このページは、質問者本人の原稿を尊重し編集しています。





スプラポ (旧松田土木事務所)

交流拠点は地域のイベント等で活用されているが、コワーキングスペースは

### 情報発信をして 利用促進を図る

# A



回答 (町長)

(1) やまびこ館・寄農と

(2) やまびこ館・寄農と

(3) やまびこ館・寄農と

町長は他の公共団体に先んじて政策を立て、特に官民連携や、施設整備等は国の財源を積極的に活用されています。そこで次のことについて伺います。

(1) コロナ禍のリモートワークに対応したやまびこ館、寄農と交流拠点施設  
(2) 創生推進拠点施設(旧松田土木)における民間事業者の利活用状況について  
(3) 普通財産の民間への貸付状況について



質問者  
齋藤 永 議員



## 財産の活用状況等について



利用が期待されているやまびこ館

試験的な利用にとどまっている。コロナ禍の影響も減少しているため、効果的な情報発信を含めて利用促進に期待したい。  
(2) 指定管理者から、700万円を納付頂いている。管理体制については、定例会議を通じ、把握に努める。  
(3) 民間への貸し付け状況は無料の個所もあるが、14件で4376万1598円。ゴルフ場や事務所等に利用されている。

## 新松田駅周辺整備事業について



質問者  
井上 栄一 議員



令和5年度予算案で新松田駅関連の整備・計画が具体的に進む道筋が示されましたが、現在、町民の駅周辺整備事業への理解はまだ深まっています。

進行なのか、南口広場整備をどう進展させていくのか、お考えは。

### 駅前広場は 再開発事業と一体的に 整備

# A



回答 (町長)

(1) 5年度で駅前広場の基本設計、都市計画決定に向け県との協議・調整、県警との交通協議を行い、都市計画法の協議を完了する予定。  
鉄道事業者の再開発組

合への参加は、小田急とは協定を締結済み、JR東海は交渉中で5月に回答済み。  
(2) 駅前広場整備は、商業・住宅・公益機能等の一体的な整備が求められているため、再開発事業により一体的に整備する。小田急所有の駅前広場用地は寄付をお願いしてあるがまだ未確定。再開発事業で広場用地は、権利変換用地として対応か。  
(3) 南口駅前広場整備は、小田原方面バス路線など、北口・南口が一体的な機能配置を考えている。南口駅前広場整備事業も、早期完成を目指す。



駅周辺事業の計画・推進  
駅前広場の整備  
駅周辺事業推進担当室

このページは、質問者本人の原稿を尊重し編集しています。

## 町民に寄り添う施策に

ついて問う



質問者  
南雲 まさ子 議員



(1) 今年1月23日厚生労働省は、使用済みのおむつを保護者が持ち帰らず、保育所で処分することを推奨し、自治体に通知をしました。使用済みのおむつを圧縮・密封する処理機の導入により、保育園・保護者の負担軽減を  
するお考えは。

(2) がんは医療の進歩により治療を受けながら、学生生活、社会生活を送ることが出来るようになり  
ました。がん治療による脱毛に苦痛を感じる患者さんの精神的、経済的負担軽減のため、医療用ウィッグの助成をするお考えは。

(3) ご家族がお亡くなりになると、ご遺族は死亡時に多岐にわたる行政手



続きをしなくてはなりません。ご遺族の負担軽減のために、ワンストップ手続きの「ご遺族支援コーナー」を設置するお考えは。

### A 町民に寄り添った対応に取り組む

A



回答 (町長)

(1) さくら保育園では、おむつの持ち帰りは検討しているが、処理機の導入はしないと聞いている。持ち帰りを無くすことは保護者負担軽減ができ、

保育士もおむつを振り分ける業務が無くなる。今後、さくら保育園のご意向を尊重しながら対応していく。

(2) 医療用ウィッグ以外にも小児の予防接種のやり直し、若年患者の妊娠するための必要な能力の温存など、自己負担の費用がかかるものがある。がん治療の影響による自己負担分の助成を調整し、早期に対応していく。

(3) 町民から「遺族支援コーナー」設置の要望があり、現在ワンストップに近い形で対応している。近隣で実施している自治体の取り組みを参考にして、町民サービスの向上につなげていく。

## 庶子地区「酒匂川左岸道路新設」

ついて



質問者  
田代 実 議員



山北町境から庶子坂本地区まで堤防を利用した「酒匂川左岸道路」を新設するため、設計委託料1050万円が4年度予算に計上されています。

(3) 交通量増加に伴う沿線の人身事故防止対策と、新十文字橋下の町道がネック箇所となるのでバイパス新設の計画は。

この左岸道路は、災害時の国道246号線の補完道路として令和8年度の開通を目指すとのことですが、沿線住民の立場から懸案事項もありますので、次のことについて町長のお考えを伺います。

(1) 多くの方が遊歩道として利用している。道路幅5mの車道を新設する計画だが、歩道の設置は難しいのか。

(2) 左岸道路が新設されると十文字橋の町道に接続するが、沿線住民の賛同は得られているか。

### A 新十文字下のネック箇所の改修は、すぐにはできない

A



回答 (町長)

(1) 車両の通行帯4mと歩行空間1mの整備を計画、大型車の通行は規制する。通行量から歩道は設置しないが、川側の低水護岸の通路を歩行者に

利用していただく。

(2) 「コロナ禍のため対面で住民の説明会は中止し、沿線の自治会に回覧で意見を募集した。「速度超過による事故が心配」「車両や歩行者が混在し危険」との声が寄せられたので、安全・安心の生活道路を整備するため、しかるべき時期に沿線住民を対象とした説明会を開催する。

(3) バイパスの新設は、河川内に整備するのでハードルが高いが検討する。町道のかなん沢橋の拡幅や、親水広場進入路の力ープの拡幅・減速対策は検討するが、今回の道路新設に含まない。

坂本地区の左岸堤防



# 人口増加策について



質問者  
古谷 星工人 議員



令和5年度予算編成では、移住者を呼び込むための施策が盛り込まれておりますが、人口増加を進めていくための今後の方策についてお伺います。

(1) 移住者の状況、件数、支援体制について。

(2) 公園整備事業に対する町としてのお考えは。



都内での移住セミナーの様子

## 人口減少対策に取組む

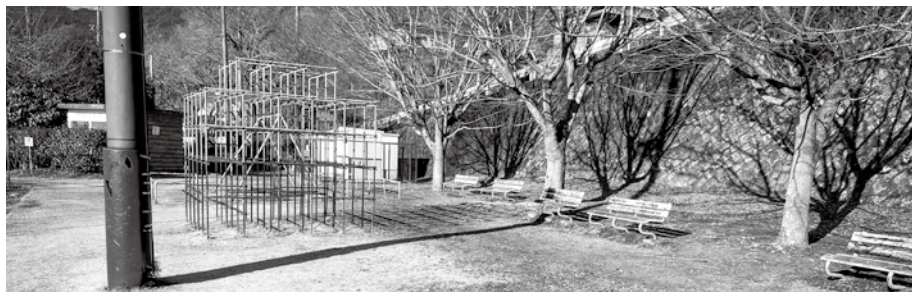
A



回答（町長）

(1) 令和3年度に「まっただ移住相談所」を設立し、移住希望者からの相談を地域の方にも乗っていただく接点を設けることとした。行政側からの情報のみならず、地域の先輩移住者の声を移住希望者につなぐことの取組を行っている。

特に、寄地区活性化推進協議会を設置し、人口減少対策、活性化に向け



みやま運動広場

た取組を進める。  
(2) まっただ子どもカフェや町政懇話会等で公園に関する要望・提案があり、公園整備は非常に高い要請に基づくもので着実に取組まなければならない施策であると認識している。

# 松田町の学校・幼稚園教育の施策について問う



質問者  
平野 由里子 議員



(1) 令和4年度で取り組んできた寄地区の小学校・幼稚園のあり方検討会を踏まえて、令和5年度にどのような教育施策を実施しますか？また今後の方向性は？

(2) 学校給食にジビエを利活用する構想について、ジビエ処理加工施設の計画段階で言及がありましたがこの構想について進展はありますか？

(3) 松田小学校はグラウンド整備まで含め建て替え事業が完了しようとしています。一方で松田中学校の大規模改修は着手したところですが、共に築年数を重ねていた中で、話はずいぶん早くから出していたと記憶しています。小学校は建て替えますが、小学校は建て替えず

## 寄ならではの学び・松田中学校の環境整備に取り組む

A



回答（教育長）

(1) 寄の幼稚園・小学校では、自然環境や地域人材を活用した取り組みや個に応じた指導が行われている。今後寄ならではの教育を進めると共に、

なり、中学校は改修となったことについて、改めて経緯と理由をお答えください。



寄幼稚園

町内外と交流し学びの場を広げる。また地域住民と学校との協働を研究する。  
(2) 「あしがらジビエ工房」は食品衛生法の手続きや運用方法の協議が必要。給食へのジビエ利活用は安全・費用面など様々な課題を検証する。  
(3) 松田小学校も中学校も「耐力度」調査をした。小学校は結果が基準以下で、国補助金対象で建て替えとなった。中学校は耐力度が基準以上で劣化は進んでおらず、建替えなら約30億の工事費は全て町負担となる。1/3の国補助を得て大規模改修で長寿命化を図り、時代に即した学び舎をめざす。

# 第1回臨時会

1月30日に第1回臨時会を開催し、委員会報告1件、補正予算1件を審査しました。

▼令和4年度松田町一般会計補正予算(第7号)

歳入歳出それぞれ3億1339万円を追加し、予算総額を62億3179万円とするものです。

令和4年第4回定例会において、総務文教常任委員会に付託され、12月8日、9日、13日、令和5年1月23日に委員会を開催しました。

主な内容は、歳入が学校施設環境改善交付金、

教育債、歳出は松田中学校整備事業に係る工事請負費などの補正をするものです。

審査の結果、委員会では賛成少数で否決、本会議では賛成多数で可決となりました。

▼令和4年度松田町一般会計補正予算(第8号)

歳入歳出それぞれ627万1千円を追加し、予算総額を62億3806万1千円とするものです。

主な内容は、歳入が出産・子育て応援国庫交付金など、歳出は出産・子育て応援給付金などを補正するものです。

## 議案第60号 令和4年度松田町一般会計補正予算(第7号) (松田中学校整備にかかる補正予算) 総務文教常任委員会報告書 (抜粋)

### 1. 審査の結果

採決の結果、賛成少数で否決すべきものと決定しました。

### 2. 審査の内容

審査の結果、本議案については、大規模改修工事としては、令和4年度3億円、令和6年度1億2千万円、合わせて4億2千万円の金額では不十分であると判断しました。

## 第1回臨時会 (1月30日)

○…賛成 ●…反対 可…可決 欠…欠席

議案等番号	議案等	議員名(議席順)	審議結果	唐澤	古谷	内田	平野	田代	井上	南雲	中野	齋藤	寺嶋	大館
				一代	工人	晃	由里子	実	栄一	まさ子	博	永	正	秀孝
議案60	令和4年度松田町一般会計補正予算(第7号)		可	欠	○	○	○	●	●	○	○	●	○	○
議案 1	令和4年度松田町一般会計補正予算(第8号)		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 飯田一議長は採決には加わらない。

## 議案第60号

# 令和4年度松田町一般会計補正予算(7号)【討論】

## 反対討論

齋藤 永 議員

私は原案に反対の立場で討論いたします。

建設してから52年経過した中学校校舎です。新しく建て替えした小学校よりも古い建物です。それを大規模改修して寿命を延ばす方法は、現代の災害に対応できるかどうか不安です。現代の災害は想定以上の結果を生むほど規模が大きくなっており、本当にこれで子どもたちを守るのか？また学校は災害に対し近隣の避難所の役割もあります。近年中に起こりうる大地震や災害に避難場所機能が不十分です。この事をふまえた改修も必要です。また、ギガスクール構想を抱いていち早く子ども達にタブレットを配布したことは教育面では先進的ですが、日進月歩の昨今、通信速度も上がり大量な情報をやり取りしている時代、タブレットが全員で利用できないとの報告を得ています。国ではDX(デジタルトランスフォーメーション)を推奨しております。その時代に松田の子ども達が生きぬくことができ、活躍できる人材育成には必要不可欠なことです。通信環境を変更する事も今回の改修には入っておりません。起債して返済猶予期間を考慮すると28年間になるのではないかと考えます。そうすると現在の築年数プラス起債終了までを考えますと現在の校舎は築80年になります。80年前の建物は民家なら古民家と呼ばれる建物になっております。要は今後30年近くは起債を返済していきますので、建て替えが出来ないということです。小学校が先進的に立派な学校になっております。そこを卒業した子ども達は思うのでしょうか？松田の子ども達には十分な教育環境を整えてあげたいと思います。このことをふまえ中途半端な改修には反対です。

議員各位におきましては、ご理解いただきますようお願いして討論を終わります。



大規模改修工事が予定されている松田中学校校舎

## 賛成討論

**平野 由里子 議員**

議案60号、令和4年度一般会計補正予算（7号）に原案賛成の立場から討論いたします。

この補正予算には、松田中学校大規模改修の工事請負費3億19万円が計上されています。元は令和5年度に実施される予定だったものですが、昨秋11月に神奈川県の方から事前前倒しの依頼が出されました。令和4年度中に事業を開始することにより、財源的に優遇されるというものでそれを受けて町から、補正予算として昨年末12月議会で上程されました。財源優遇というのは、地方債の交付税参入率が、通常では元利償還金の30%のところ、50%に上がるということで、それにより町の実質負担額が予定よりも5225万円減るとのことです。また、事業が前倒しになることにより、予定している特別教室の空調設置工事や窓の網戸設置が夏に間に合います。（普通教室は既に設置済みです。）他の今回の工事箇所は、エレベーター1基の設置と、屋上防水や外壁改修、教室の窓を断熱効果の高いペアガラスに交換、また外構工事が予定され、続いて令和6年度には内部の改修も行われ、魅力的な学び舎となるでしょう。使用しながらの改修工事なので、手順を工夫し、学習環境に配慮してスムーズに進めていただくことを期待し、私の賛成討論といたします。

## 反対討論

**田代 実 議員**

令和4年度一般会計補正予算（第7号）に反対の立場で討論を行います。

松田中学校整備工事3億1300万円が提案されました。この工事は、校舎外壁の改修や屋上防水工事、エアコンの設置、本校舎のエレベーター整備などです。また、6年度には校舎内の壁や床などを改修するために1億2000万円を加え、総額4億3000万円余りです。

本校舎は築52年、特別教室棟も30年余り経過し老朽化が著しいので、この規模の改修工事では、満足のいく整備にはなりません。特に、技術教室棟のエレベーター設置は予算がないので昇降機とのことですが、車いす利用の生徒には介助者が必要です。そして、生徒や保護者からは狭くて使いづらいと言われ続けている下駄箱や、ホーム教室のカバン収納用ロッカーの改修などが含まれていません。

さらに、現在の基準にはそぐわない狭い教室を広くすることや、老朽化した給排水工事なども入っていないことから、今回の整備工事は明らかに不十分です。本来なら本校舎の建替も視野に入れて検討すべきという考えから、委員会は補正予算を否決しました。

6年度に、この大規模改修工事が完了となりますが、その後は相当な期間、国庫補助による改修はできません。現在、避難所に指定されている新耐震基準に満たないDランクの建物、松田中学校屋内運動場は大災害時に町民の命を守る施設ですが大規模補強工事は、どのようにお考えでしょうか。

一方、計画行政推進のために策定した「松田町第6次総合計画」は最上位のものですが、この改修工事の位置づけはなく、今回の補正予算で提案されたことは如何なものでしょう。

以上のことから、松田中学校大規模改修工事はゼロベースの視点で見直す必要があるということ、私の反対討論とします。

## 賛成討論

南雲 まさ子 議員

議案第60号令和4年度松田町一般会計補正予算（第7号）について原案に賛成の立場から討論を行います。議案第60号令和4年度松田町一般会計補正予算（第7号）は松田中学校整備事業として総額3億1339万円を投じ松田中学校の環境改善を目的とし、空調機器設置、サッシ改修、エレベーター設置工事、屋上、外壁改修工事などを行うものです。

松田中学校は昭和46年に建設され普通科教室棟は52年が経過していますが、平成30年のコンクリート耐力度診断の結果、机上の計算では100年以上もつことが報告されております。

昨年の夏は記録的な暑さとなり、気象庁は1946年統計開始以降最も高い気温になったことを発表し、今後もこういった猛暑が予想されます。特別教室はじめ、各教室へのエアコンの導入、断熱性に優れたサッシの改修工事により、教育環境の向上が図られます。

昨年4月に改正バリアフリー法が全面施行され、既存の公立小中学校ではバリアフリー化が努力義務とされています。今後エレベーターを必要とする生徒が入学することを考慮し、誰もが学べる環境を整える



エレベーター設置予定箇所外観

ために、エレベーター設置は喫緊の対応が求められます。屋上防水工事、外壁改修工事を実施し校舎の長寿命化を図ることも重要と考えます。令和5年度に予定されていたこの事業を1年前倒しすることにより、町の実質負担額が約4750万円軽減され、有利な条件での事業推進につながります。自主財源の乏しい松田町は非常に厳しい財政運営を強いられており、少しでも有利な条件での事業推進が求められています。是非議員の皆様のご賛同をお願い致しまして、わたくしの賛成討論といたします。

## 反対討論

井上 栄一 議員

私は、議案第60号令和4年度松田町一般会計補正予算（第7号）について、反対の討論を行います。

松田中学校校舎は老朽化した教育施設です。今回の議案第60号は、大規模改修として空調機設置、エレベーター新設、屋上防水や外壁改修等の工事費を計上した補正予算です。

松田中学校校舎は築52年を経ています。現在では松田中学校の教室は中学校標準の教室面積と比べて狭小であり、様々な教育機器等の設置や体格が大きくなった生徒の机等の配置に余裕がありません。この52年間の教育環境の変化へも対応できていません。他の市や町の中学校と比べて見ても決して進んでいるとは言えないです。ここで国庫補助金や起債によって松田中学校大規模改修事業を行ってしまうと、起債償還が終える28年先まで新築校舎の建替えが出来なくなるということです。是非、このことを皆さんに理解していただきたい。

この松田中学校大規模改修事業の補正予算が可決されるとするならば、私たち議会は起債償還が終えるその先まで責任を負わなければいけません。28年先とは、新築からだ80年間です。コンクリート造の建物の寿命は100年あるそうですが、建物が80年以上持つことと古い設計で建てられたボロボロの校舎・匂いのするトイレ、狭く古い環境の教室で、将来の松田を背負うこれからの子供たちを我慢させなければなくなるということのを是非理解してください。



防水工事を予定している屋上

## 全国町村議会議長会 自治功労者表彰受賞

多年にわたり、地方自治の振興に尽くされた功績により、自治功労者として表彰されたので報告します。

議会議員27年以上の表彰（大館議員）  
議会議員15年以上の表彰（飯田議員・中野議員）



左から、飯田 一 議員、大館 秀孝 議員、中野 博 議員

## 議員との意見交換会について

意見交換会は、各種団体やグループを対象に「まちづくり」について議員と話し合いを行うものです。随時募集しておりますので、お気軽にご連絡ください。

- 1 テーマ 応募団体等が希望するテーマ
- 2 場所 松田町役場会議室等
- 3 人数 各種団体・グループ・事業所  
ほか15人程度まで
- 4 申込み 松田町議会事務局  
電話0465-84-1335



## 議員行政視察報告

日 時 令和5年1月27日（金）  
視察場所 群馬県前橋市  
参加者 唐澤 一代

### ① MaeMaaS（前橋版MaaS）社会実装事業

これまでの実証事業からの継続した取り組みとして、地域公共交通の利便性向上及びMaeMaaSの社会実装のため実施。これまでの実装における課題である、わかりやすい利用方法、わかりやすい情報案内に対し、対面での利用登録窓口システムの構築、多様な交通モードを網羅するリアルタイム経路検索を提供。引き続きマイナンバーカード認証基盤と連携し、利用者属性情報による割引等の運賃施策を実施し、MaaS環境の構築による市民の公共交通に対する意識変容、社会受容性、実運用に向けた社会実装モデルの検証を行う。

### ② これまでのMaeMaaSの取り組み

2020年12月～2021年3月  
2021年10月～2022年3月  
2022年4月～10月  
2022年11月～MaeMaaS（社会実装）

MaeMaaS  
(実証実験)

実証実験を終了し社会実装をスタート

2022年度末～他エリアへの展開（エリア拡大、マイナンバーカード×Suica連携等の機能拡張）

※MaaSとは…複数の公共交通等の移動サービスを最適に組み合わせ検索・予約・決済等を一括で行うサービスであり、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となるもの。

### ③ 持続可能な公共交通に向けての「課題点」

- ・JR 自動改札機の改修コストが膨大
- ・私鉄 全駅に電子読取を行うとコストが見合わない
- ・バス Suica系、パスモ系でデータの紐づけが出来ない=電子的に割引等が不可
- ・タクシー タクシー側の電子化の遅れ→MaaSからの配車システムを予定
- ・シェアサイクル 今後は利用登録をMaaSと一本化を検討
- ・他分野 ライトな読取端末の普及、ユーザー視点に沿ったサービス導線・コンテンツの開発が必要
- ・デマンド交通 電子読取、市民割引、電子決済が実装済み  
将来のサブスクを見据え2023年2月に高齢者割引も試行
- ・福祉デマンド 電子配車システムの導入予定、MNCによる属性認証も搭載予定、群馬県MaaSとして一体的な運用がビジョン

### ④ まとめ

移動に対する様々なニーズや重要性が高まっている松田町にとって、前橋市の実装情報は課題点等も明確に抽出し解決し、持続可能な公共交通の在り方を実現しつつあり参考になった。



## 住みやすい町を目指して… 53

# 「火災ゼロ」の町へ

松田町消防団 団長 やざき よしかず 矢崎 吉一さん(宮前在住)

### 紹介

松田町消防団は「消防組織法」に基づき昭和30年4月1日に設立され、本団、7個分団、機能別消防団員、計126名（令和5年4月1日現在）で編成されています。

### 消防団員の活動

消防団員は、常勤消防職員が勤務する消防署とは異なり、火災や大規模災害発生時に自宅や職場から直接現場へ駆けつけ、速やかな消火・救助活動を行う、非常勤特別職の地方公務員のことです。消防団の活動としては、消火活動、救助活動、水防活動、防火・啓発、広報活動などがあり、年間を通じて消防団員は献身的に活動しています。また、寄地区を管轄する第5分団から第7分団は、山での遭難事故が発生した場合、迅速な捜索活動を実施するため、遭難救助隊を組織します。捜索の要請があった場合は、丹沢山系などを捜索するために、山を熟知している精強な隊員が必要です。

### 消防団の現状

消防団員のほとんどの者が「サラリーマン」です。近年は、会社や事業所などの消防団活動への理解や協力を得ることが難しく新規団員の募集が難しくなるとともに、団員の高齢化による退職もあり、充足率は毎年低下しています。その中で町では令和元年に機能別消防団員制度の導入、令和

4年度に消防団員の出勤手当を日当から時間給へ変更するなど、団員の確保や組織の魅力化を図り、消防力の維持強化を図っています。

### 新時代に即した消防団へ

「災害は忘れた頃にやってくる」といいますが、近年の災害はいつ来てもおかしくない状況であり、大規模地震、大型台風、長期前線停滞、富士山噴火などの大規模災害の可能性が高まっていると言われています。消防団員は、火事や災害対応のため、消防団を中核とした地域の防災力の向上が求められ、果たす役割はますます大きくなってい



令和4年度町年末火災特別警戒激励

ます。反面、年々消防団の人員は不足しています。

こうした状況の中、巨大化する近未来の災害に備え、新しい時代の消防団が必要です。昨年は、第6分団の詰所の改修工事や新型消防車両の導入、本年度は消防団管理アプリ導入によるデジタル化など、消防環境の強化を図っています。また、消防団の将来を見据えた改革を検討し「少数精鋭、装備の近代化、運営に透明性のある真に機能する消防団」を目指して各種改革を実行していきます。

最後に「火災ゼロ」を目標とし、訓練により団員の練度を向上させ、消防団として一致団結、町民の安全安心のために精進してまいりますので、今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

町議会広報広聴常任委員会では、  
**「住みやすい町を目指して」**  
活動されている方や団体で、このコーナーに掲載して下さる方を募集しています。  
希望される方は下記までご連絡ください。

## 第2回定例会は6月6日(火)開会

**発熱等症状がおありの方は、ご遠慮ください。**

議会広報広聴常任委員会  
委員長 寺嶋 正  
副委員長 内田 晃  
委員 田代 実  
委員 中野 博  
委員 飯田 一  
委員 齋藤 永

これからも町民のくらしを守るために、町政運営をしっかりとチェックしてまいります。(寺嶋)

令和5年度の予算は、6人で構成する一般会計予算審査特別委員会でも慎重に審査されました。特に、町税が減少傾向にあるため、財源の確保に努めること。Aオンデマンドバス交通の導入に向けた実証実験は、公共交通事業者との調整を図ること。「あしがらジビエ工房」の管理運営を軌道に乗せ、ジビエの精肉販売事業を展開することなど審議されました。予算執行における質疑内容を載せましたのでご覧ください。

編集  
あとがき

